



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和3年9月1日

第7号



「ステイホームの夏休み」を振り返って

副校長 河村 淳司

暑かった夏休みも終わり、学校生活が始まりました。夏休みに入っても、緊急事態宣言の再発令やまん延防止等重点措置対策が継続され、毎日のようにテレビやラジオで各地の感染者数の増加情報が流れ、今年の夏も様々な場面での行動が制限されてしまいました。

夏休みと同時に始まったオリンピック競技。一年延期されての開催を楽しみにする声と感染症の拡大を心配する声…。様々な思いを抱いて、7月23日に開幕を迎えました。17日間の日程で史上最多の33競技、339種目の熱戦が繰り広げられました。この日のために日々努力し、困難な状況下で精一杯競い合う各国の選手たちの姿に一喜一憂してしまいました。やはり、スポーツの祭典のもつ魅力だと思いました。今回は、新規採用されたスケートボードなど若者向けの競技も加わり、新鮮さとともに時代の移り変わりを感じました。オリンピックが終わり、24日からはパラリンピックも開催され、熱戦が繰り広げられています。

大リーグの大谷選手らの活躍が注目されていますが、オリパラの様々な競技、種目等を通して、子どもたちが興味関心やあこがれをもち、スポーツに対する理解を深め、自分なりのスポーツとの関わり方や楽しみ方を考えてくれればと思っています。

今年の夏も台風や大雨のため、九州地方をはじめ、多くの地域で洪水や土砂崩れ等による被害がありました。自然の驚異と恐ろしさを目にし、日ごろからの防災に対する関心や心構えの大切さを改めて考えさせられました。子どもたち一人一人が、避難訓練や日々の学習に真剣に取り組み、防災意識をしっかりともち、自分の命は自分で守ることができるようになってくれればと思います。

緊急事態宣言が9月12日まで延長され、学校は8月末まで臨時休校、9月13日まで分散登校になりました。今後も学校行事や様々な場面での対応等が必要となりました。まだまだ出口の見えない状況ですが、学校では今まで通り手洗いやソーシャルディスタンス等、自分たちができることを行い、健康で安全な生活が送れるよう取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。